

こくりゆう だより



大阪府立桜塚高等学校 2年 須賀 彩七

「秘め事」



今後のイベント情報 ※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



外国にルーツを持つ子どものための居場所

サンプレイス・インテンシヴ

8月13日(火)、15日(木)、18日(土)、25日(日)

いずれも13:00~15:00

ふだんの活動では子どもたちが自分でやりたいことを決めて、活動中の時間を過ごすサンプレイス。今年も夏休み企画として、大学生のボランティアが夏休みの宿題や勉強のわからないところをサポートします。夏休みの終わりにとよなか国際交流センターで集中して勉強してみませんか？1日のみの参加もOKです。

対象：外国にルーツを持つ子ども(小学生~高校生)

定員：各日8名まで(要申込・先着順)

申込先：とよなか国際交流協会(06-6843-4343)



【報告①】4/29 (土) 2024パンソリを楽しもう

「パンソリを楽しもう！安聖民パンソリライブ ～Part.4～」を4月27日(土)にすてっぷホールで開催しました。今年度も唱者 安聖民(アンソンミン)さん、鼓手 李昌燮(イチャンソプ)さんをお招きし、120名の参加がありました。

当日の演目は、短歌「オフアセサン」、続いてパンソリ「水宮歌」「興甫歌」の3つ。間に入る楽しいトークで参加者は心温まりつつ、演者お二人の熱演で会場は物語の世界へ誘われ、最後は安聖民さんと参加者と一緒に手振りや掛け声を行ないながら楽しみました。

参加者からは「感動で涙がでました」「情景が目浮かぶ公演で大変楽しみました」等の感想をいただき、沢山の方に楽しんでいただくことができましたようです。

今年度のパンソリライブはとよなか国際交流センター、(一財)とよなか人権文化まちづくり協会、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷが主催、在日本大韓国民団 大阪府豊能支部の協力で行いました。今後も他団体と連携しながら、幅広い世代のみなさんに参加いただけるようなイベントや講座を企画・実施してまいります。(協会職員・大庭みゆき)



講演(興甫歌)の様子

【報告②】5/14 (火) 多文化子育て支援ボランティア養成講座

「おやこでにほんご」「多文化子ども保育にこここ」の新規ボランティア希望者に向けた講座を開催しました。各回の報告を7月号と8月号に掲載します。

第1回は「ボランティアをはじめよう！～子育て支援ボランティアが大切にしたい視点とは～」と題して、社会福祉法人大阪ボランティア協会の市居利絵さんにご登壇いただきました。

「ボランティア」という言葉から連想されるイメージが多様であること、ボランティアは無報酬の奉仕者ではないことを確認し、ボランティア活動の4つの概念(①自発性②社会性③無償性④独創性)についてお話いただきました。さらに、相手に対して「～してあげる」の固定観念を外し対等な関係を意識することや、効率を求めてボランティア活動をするのではなく、お互いに補い合う仲間として活動することも大切であるというお話がありました。

最後に、市居さんご自身の経験から、ボランティア活動を通して自身の社会の見え方が変わっていくこともあると話され、参加者からは「これからの活動に希望が持てた」「自発的にいろんなことに取り組んでみたい!」などの感想が寄せられました。(協会職員・三木幸美)

【報告③】5/23 (木) 世界を食べよう：ペルー編

5月23日(木)、地域に暮らす外国人の講師と料理を通じて交流する多文化共生プログラム「世界を食べよう」ペルー編を開催し、15人の方にご参加いただきました。

講師を務めたのは、日系ペルー人でお料理上手の山本ロサさん。ペルーの家庭料理「Estfado de pollo」(エストファード デポヨ/ペルー風チキンのトマト煮込み)をメインに、サラダ、ガーリックライス、シナモンティーを作りました。ロサさんの明るく楽しい人柄に、参加者のみなさんも和気あいあいとした雰囲気、出来上がったお料理も大好評でした。

ロサさんの娘さんとお孫さんも途中参加して、お料理を食べながら、ペルーについて食文化にとどまらない、いろいろな話を聞くことが出来ました。(ちなみに、今回のメニューは娘さんが一番好きなペルー料理だそうです。)

「いつか自分のお店を持ちたい!」というロサさん。ロサさんのおいしいペルー料理をたくさんの人に味わってもらえる日がくることを、わたしたちATOMSも応援しています!(協会職員・山根絵美)



ワンプレートにいただきました



料理を作るのも教えるのもとってもお上手なロサさん

2018年2月号に最終回を迎え連載「なんじゃ・カンジャ・言わせてもらえば」の執筆者、皇甫康子さんのコラムです。
皇甫さんの想いとメッセージがイモゾモ（あれこれ）詰まったコラムをどうぞ。

戸籍上は1934年だが、1932年に韓国慶尚北道義城郡で生まれた少年は生まれたときから自分の国がなかった。貧しい農村の長男として、5歳で家族を養うため、山で薪を拾い、市場で売ったお金を食費の足しにと母親に渡していた。小学校に上がると、走るのも一番、勉強も一番で、川でおぼれそうになった子を助けたこともあった。生活力のない父親の代わりにできることは何でもした。少年のことを誰よりも大切に思っていた祖母は親戚の家を連れ歩き、食事をさせた。貧しかったが、少年は丈夫に育った。ますます食べるものがなくなり、親戚を頼り、少年一家は北海道の美瑛に移住する。大自然の中での生活は楽しかったが、弟が肺炎で亡くなり、埋めた場所も分からなくなってしまった。

1944年、日本が戦争に負けるのではと恐ろしくなり、親戚を頼って大阪の東淀川に移る。朝鮮人の仲間がたくさんいた。学童疎開が始まり、朝鮮人は疎開するところがなかったので、故郷に帰ることになった。祖国で解放を迎え、復学した村の小学校ではたくさんの旧友たちが戻ってきていた。北海道、関東、関西などの言葉が飛び交った。小学校を卒業したあと、中学校に行きたかったが、貧しい生活は相変わらずだったので、あきらめた。朝鮮戦争を経験し、ますます疲弊する生活を何とかしようと、釜山の親戚を頼り仕事を探す。少年は青年になっていた。アメリカ船や親戚が乗っていた船で働いた。捕虜や避難民を移送する仕事だった。船の仕事だけでは家族を養えない。もっと稼ぎたいと考え、もう一度日本の親戚を頼ることにした。船が日本に到着すると、帰国しないで大阪の親戚の家を目指した。小学校時代、日本にいたので朝鮮語なまりのない日本語が使える。父親のたった一人の妹だった叔母さんは東淀川の朝鮮人長屋に住んでいた。夫は朝鮮総連で活動していた。染め物工場、ウエス工場などの肉体労働をし、朝鮮人がやっている下請け工場で機械塗装の仕事を習いはじめた。

元々手先が器用で飲み込みの早い青年はどんどん技術を習得し、親方からも信頼されるようになる。少ない給料のほとんどを韓国の親きょうだいに送金する生活だったが、日本での生活は思ったほど悪くはなかった。親戚の紹介で、京都で生まれた育った女性と結婚することになる。親戚の家での結婚式はささやかではあったが、たくさんの人たちが祝ってくれた。女性は7人きょうだいの長女で、その親戚たちも近隣に住んでいた。たった一人で日本にいた青年はとても心強くなった。養豚の仕事をする両親の代わりに家事、育児を担っていた女性は、たまに行く日本の学校で「チョウセンジン」と虐められ、勉強を続けることができなかった。結婚したことで実家からは解放されたが、夫の叔母の家での居候生活だったので、その叔母夫婦の嫁がわりにこき使われた。それでも、お酒も飲まず、賭け事もしない真面目な夫に満足していた。夫婦の日課は新聞に出ている文字と一緒に学習することだった。

次々に子どもが生まれ、入国管理局に自首し、特別在留権を取得する。機械塗装の下請け会社を経営し順調だったのが、気が付けば人生のほとんどを日本で暮らすことになっていた。やりくり上手の連れ合いが57歳で病死してからは、ずっと一人で生きてきた。

「負けたくなかった」という言葉を残し、少年は2024年5月4日に92歳で亡くなった。貧しさに、日本人に、差別に、運命に、病気に、息子たちに、人生のすべてに負けたくなかった。苦労は多かったが、思い通りの人生を歩んだ。身体が終末を迎えても、生きる意欲に満ちていた。あっぱれな最期だった。負けず嫌いな少年は私の父だ。

【告知】学習日本語「こんぱす」

学習日本語「こんぱす」は日本語指導グループ「とよなかJSL」が運営主体となって、外国にルーツを持つ子どもたちを対象に、教科学習につながる日本語のサポートを行っています。友達とコミュニケーションをとることができても、授業についていくのが難しかったり、勉強がわからなかったりする場合などは、学習に必要な日本語力が関係しているかもしれません。日本生まれのこともや、母国で中学校を卒業してから日本に来て学校に通っていない人、高校に行きたい人もご相談ください。

日時：毎週 火曜日、金曜日 17:00～19:00（学校の長期休暇中はお休みです）

対象：外国にルーツを持つ小学生・中学生 ※豊中市在住でなくても通うことができます。

参加費：1か月 500円

場所：とよなか国際交流センター（豊中市玉井町1-1-1-601「エトレ豊中」6階）

問合せ先：とよなか国際交流協会（水曜休み）

電話：06-6843-4343 メール：atoms@a.zaq.jp



2024 7月の事業開催カレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
01 もっと 相談	02 おやこ 相談 こんぼす	03 休館日	04 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	05 金あさ にこにこ 相談 こんぼす	06 たまりば 相談	07 がちゃ 相談 貸室抽選会
08 もっと 相談	09 おやこ 相談 こんぼす	10 休館日	11 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	12 金あさ にこにこ 相談 こんぼす	13 相談	14 がちゃ 母語 サンプル 庄内
15 海の日	16 おやこ 相談 こんぼす	17 休館日	18 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	19 金あさ にこにこ 相談 こんぼす	20 相談	21 がちゃ サンプル 庄内
22 もっと 相談	23 おやこ 相談	24 休館日	25 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	26 金あさ にこにこ 相談	27 相談	28 がちゃ 母語 サンプル 庄内
29 もっと 相談	30 おやこ 相談	31 休館日	01	02	03	04

◆赤色で表記している活動については、活動内容を変更している場合があります。詳細については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日…ももっともつつかえるにほんご ※むらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日…おやこ(千里・岡野・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぼす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日…とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 つながれ とよなか オンライン!	13:30~15:00 13:30~15:00 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日…とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぼす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日…韓国・朝鮮のことばとあそびのついで ※基本、毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 13:30~16:00
日曜日…にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2・4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00~11:45 10:00~11:30 13:00~15:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

せんり がくしゅうしゃ ぼしゅう
「千里にほんご」学習者を募集しています!

「あなたのレベルに合(あ)わせた日本語(にほんご)で、一緒(いっしょ)におしゃべりしたり、学習(がくしゅう)したりしましょう!」
日本語(にほんご)を勉強(べんきょう)したい人(ひと)はだれでも参加(さんか)できます。

- 時間(じかん):木曜日(もくようび) 10:00~11:30
- 場所(ばしょ):千里(せんり)文化(ぶんか)センター「コラボ」(豊中市(とよなか)新千里東町(しんせんりひがしまち)1-2-2) 第(だい)1・3木曜日(もくようび):4F 第(だい)1・2集会室(しゅうかいしつ)(図書館(としょかん)横(よこ)) 第(だい)2・4木曜日(もくようび):3F 第(だい)1講座室(こうざしつ)

とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゅうだより」第183号(2024年7月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エドレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00~21:30(水曜休館)
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail:atom.s@a-zaq.jp WEB:http://www.a-atom.s.info/

SNSも随時更新中!
「とよなか国際交流センター」で検索!

多言語情報も配信しています!

